

アンダンテ・国総 a		羅生門（7）羅生門マイクロ・ディベート			No. 21
（ ）講座		平成28年 月 日（ ）			限 担当：西村
組		番		氏名	
<input checked="" type="checkbox"/> 提出（ / まで） <input checked="" type="checkbox"/> ノート添付 <input type="checkbox"/> 提出不要 <input type="checkbox"/> その他（					

下人のしたことについて、下人の悪事を訴える検察側、弁護する弁護側に分かれて、裁判をします。目的は勝ち負けではなく、物事を多角的に考えることです。

検察側の理由 5つ以上箇条書きにする。

弁護側の理由 5つ以上箇条書きにする。

検察側の時のメモ

弁護側の時のメモ

判定の時のメモ

【検察側】

【弁護側】

1. 下人のしたことについてことについて、検察側と弁護側に分かれて討論する。
 - ・一人が、検察側にも弁護側にもなる。
2. マイクロディベートの目的を説明する。
 - ・あくまでもゲームである。
 - ・勝ち負けではなく、物事を多角的に考えることである。
3. 検察側の理由（下人が悪い理由）と弁護側の理由（下人が悪くない理由）を、5つずつ以上書き出す。（8分）
4. 3人組になる。
 - ・3人になれないときは4人組も作る。
5. 役割の順番を決める。
 - ・ABCを決める。
 - ・4人組は、2人で1つの役割をする。

1回戦	A（検察）	B（弁護）	C（判定）
2回戦	A（弁護）	B（判定）	C（検察）
3回戦	A（判定）	B（検察）	C（弁護）
6. マイクロディベートの手順を説明する。
7. マイクロディベートをする。
 - ①検察側立論（60秒）
 - ・下人の罪、悪い点について3つ述べる。
 - 「下人の悪い点は、1つ目は～、2つ目は～、3つ目は～です。」
 - ②弁護側立論（60秒）
 - ・下人の悪くない点について3つ述べる。
 - ③検察側反論（60秒）
 - ・弁護側の立論に対して反論する。
 - 「弁護側は〇〇といましたが、□□ではないのですか」
 - ④弁護側反論（60秒）
 - ・検察側の立論に対して反論する。
 - ⑤討議（120秒）
 - ・互いに意見を述べ合う。どちらが喋ってもいい。
 - ⑥判定（一瞬）〈4対1、3対2の2通り〉
 - ⑦ふりかえり（120秒）
 - ・判定の理由を説明し、意見を交流する。
8. 自分の得点を計算する。